



日本語学会

The Society for Japanese Linguistics

2019年度 秋季大会

2019年10月26日(土)・27日(日)東北大学

10月26日(土)

| C棟 2階 C200 | | 司会:日高 水穂 | | | |
|---------------------|--|---|--|---|--|
| 12:30 ~ 13:10 | 会長対談 —前川喜久雄氏を迎えて— | 日本音声学会会長 日本語学会会長 | | 前川喜久雄 金水 敏 | |
| 口頭発表 | A会場 B棟 1階 B101 | B会場 B棟 1階 B102 | C会場 B棟 1階 B103 | D会場 B棟 1階 B104 | |
| | 司会: 江口 正 | 司会: 青木 博史 | 司会: 高田三枝子 | 司会: 加藤 大鶴 | |
| 13:30 ~ 14:10 | 失礼な「テオク」について —「テオク」の級外下位ポイントに着目して— 井上 直美 | 上代語における「不定語+ト」引用句と潜伏疑問文, 間接疑問文 山田 伸武 | 全国資料を用いた終助詞「モノ類」の地理的分布 —藤原与一の調査と方言談話資料『ふるさとことば集成』との対照から— 小原雄次郎 | ミクロネシア地域の言語における日本語起源借用語の比較研究 今村 圭介 ダニエル・ロング | |
| 14:20 ~ 15:00 | 能動・受動の選択の複数の独立した有標性制約によるモデル TOET RUDY | 古典語における形容詞連用形・テ形の副詞的用法について 菊池そのみ | Web言語調査による若年世代方言の全国分布 吉田 健二 南波 茉奈 | 岡山県東部方言のアクセントの成立過程 中澤 光平 | |
| 15:10 ~ 15:50 | 主体の特徴としての動作を表す文について 呉 涵涵 | 接続助詞的トコロでの歴史的変遷—トコロガとの関係再考— 三浦さつき | 民話資料のコーパス的利用の可能性—「宮城県の民話」の分析から— 寺嶋 大輔 | ソウダ節での音調中和にかかわる構造的・地域的要因 那須 昭夫 | |
| 司会: 米谷 隆史 | | 司会: 吉田 永弘 | | 司会: 三井はるみ | |
| 16:10 ~ 16:50 | 話題間関連性と話題終了から見る話題開始表現の使い分け 朱 怡潔 | 時間関係を表す「やさき」の成立 藤田 優子 | 八丈語の二格形容詞 三樹 陽介 | 現代短歌における二重表記の役割—日本語学の見地から— 清水 恵理 | |
| 17:00 ~ 17:40 | 接続詞「また」の機能領域の広さと対称性—「さらに」「一方」と比較して— 井伊菜穂子 | 20世紀後半の外来語使用急増の一過程—外来語「パターン」の増加過程を例に— 石 陽陽 | 北琉球語喜界島方言の授与動詞 荻野千砂子 | マギル疼痛質問票日本語版における痛み表現に関する研究—感覚的表現を中心に— 華 迪聖 | |
| 川内厚生会館 川内の杜ダイニング | | 司会: 山本 真吾 | | | |
| 18:00 | 懇親会 | | | | |

2019年10月26日(土)・27日(日)東北大学

10月27日(日)

| ブース 発表 | E会場 C棟 2階 C201 | F会場 C棟 2階 C202 | G会場 C棟 2階 C205 | H会場 C棟 2階 C206 |
|---------------------|---|---|---|---|
| | 担当: 森山由紀子 | | 担当: 安部 朋世 | |
| 9:50 ~ 10:35 | 『日本語歴史コーパス 和歌集編』 Ver.1.0の公開 松崎 安子 小木曾智信, 中村 壮範 | 漢字字体規範史 データセットと 単字検索 守岡 知彦 劉 冠偉, 高田 智和 | 『BTSJ日本語自然会話 コーパス2018年版』 の活用法の紹介と 終助詞「ね」「よ」, 「よね」の使用実態の 分析 宇佐美まゆみ | 統語解析情報付き コーパスを用いた テキストジャンル間 の比較 三好 伸芳 |
| 10:45 ~ 11:30 | “専門連語”が示唆 するもの —連語の単位性と 専門概念の名づけを めぐって— 小宮千鶴子 | 漢語通時コーパスの 構築—「大地コーパス」 の設計と目標— 王 鼎 | 埼玉県羽生市三田ヶ谷 平島地区における 対称詞選択・被選択 規則の言語行動学的 考察 吉岡 希光 | |
| 10:45 ~ 11:30 | 明治・大正期の文学 作品コーパスの設計 とその課題 高橋 雄太 服部 紀子, 小木曾智信 | 共通語化最終段階に おける方言使用状況 —第1~4回鶴岡 共通語化調査データ の公開— 鎌水 兼貴, 高田 智和 | 助詞の使用頻度から 見た中古日本語の 特徴と訓点資料との 関係 廉田 浩 | |
| | どのような場面で「私は 娘をほめられた」と言う のか —日本語母語話者を 対象としたアンケート 調査から— 村上 佳恵 | 慣用音と呉音との はざま —現代漢和辞典と 近世法華経字音— 宋 在漢, 中澤 信幸 | 漢語副詞の意味変化 と表記 —「散々」を例と して— 蔡 嘉昱 | |
| C棟 2階 C200 | | | | 司会: 日高 水穂 |
| 12:20 ~ 12:35 | 大会式典 | | 会長挨拶 会場校挨拶 学会賞授賞式 | 会長 金水 敏 森本 浩一 |
| 12:35 ~ 12:50 | 臨時会員総会 | | | |
| C棟 2階 C200 | | 企画担当: 竹田 晃子, 金 愛蘭 | | 司会: 竹田 晃子 |
| 13:00 ~ 16:30 | シンポジウム 社会変動の中の日本語研究—学の樹立と展開— | | | |
| | 研究対象の学としての自立化と時代背景—現代日本語文法— | | 大阪大学名誉教授 仁田 義雄 | |
| | 言語使用の学の展開—言語生活・言語行動・社会言語学・日本語教育— | | 国立国語研究所名誉所員 杉戸 清樹 | |
| | 言語の記述・観察から言葉の生態学へ—危機方言の活性化支援活動を通して— | | 岩手大学 大野 眞男 | |
| | 指定討論者: 大阪府立大学 山東 功, 日本大学 金 愛蘭, 沖縄県立芸術大学 仲原 穰 | | | |